



市役所からのお知らせ

●文中の「SC」はサービスセンターの略



「2020年工業統計調査」にご協力ください

工業統計調査は、従業者4人以上のすべての製造業を営む事業所の1年間の生産活動を調査するものです。

調査日は6月1日(月)。調査員証を持った調査員が、5月中旬から各事業所を訪問しますのでご協力をお願いします。

●問い合わせ 情報統計課調査統計担当 ☎(888)5470

下浜駅東西歩道橋が通行止めになります

橋梁補修工事に伴い、下浜駅東西歩道橋が5月20日(水)から10月中旬まで通行止めになります。ご利用の際はお手数ですが、現地から約500以南にある踏切へ迂回していただくようお願いいたします。

●お問い合わせ 農地森林整備課 ☎(888)5751

少年指導委員を募集します



子どもたちの健全育成のため、ボランティアで街頭巡回などを

行っていたただける少年指導委員を若干名募集します。

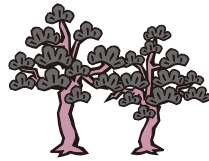
対象)市内に住む20歳以上で、青少年の健全育成に関心のあるかた(学生も可)

申し込み)5月22日(金)まで、履歴書を添えて秋田市少年指導センター(アルヴェエ5階)子ども未来センターへ。後日面接があります

●問い合わせ 少年指導センター ☎(884)3869

松くい虫防除薬を無料で差し上げます

アカマツやクロマツへの松くい虫被害を防止するため、次の要件を満たし、共同防除を実施する町内会へ薬剤を差し上げます。



5月7日(木)から13日(水)までの平日に、農地森林整備課(市役所3階)へお申し込みください。

■防除薬の提供要件

- ①樹高が10以上で本数が30本以上、またはこれと同等以上のまとまりがあり、地域住民の同意が得られていること
- ②6月中旬から7月上旬まで散布できること
- ③散布機械があること

●問い合わせ 農地森林整備課 ☎(888)5741

野山に入るときはヤマビルにご注意を!

ヤマビルは、気温の上昇とともに、例年5月頃から発生します。秋田市北部や五城目町などの山沿いで湿気の多い場所に生息し、人や動物にとりつき血を吸います。

吸血被害を防ぐには、首にタオルを巻き、袖の長い服を着て、長靴をはくなどしてヤマビルの進入経路をふさぎ、足下に忌避スプレーや食塩水を吹きかけるのが有効です。皮膚につかれたら、無理にはがそうとせず、食塩水を吹きかけると自然にはがれます。

吸血されると2時間程度出血が止まらなくなることがあり、しばらくはかゆみも残ります。体調がすぐれない場合や症状が治まらない場合は、医療機関の受診をお勧めします。

●問い合わせ 農地森林整備課 ☎(888)5741

新たに山岳救助車と山岳救助用資機材を整備

市では、山岳事故での救助体制の強化を図るため、昨年、秋田市消防山岳救助隊を編成しました。そしてこのたび、その活動をより充実させるため山岳救助資機材を

積載した山岳救助車を導入しました。

これから本格的な登山シーズンを迎えますが、秋田市消防山岳救助隊は、引き続き、遭難などの事故現場での安全確保に努めてまいります。



●問い合わせ 消防本部警防課 ☎(823)4243

ハピネットから下敷きを寄贈していただきました

プロバスケットボールチームの秋田ノーザンハピネットから、勉強に役立てて欲しいと、オリジナルデザインの下敷きが小学一年生に贈られました。

下敷きは、学校を通じて子どもたちに配布されました。ありがとうございました。

●問い合わせ 教育委員会総務課 ☎(888)5803



協賛企業のアルフレックスファインケミカル(株)の協力のもと作成していただきました

文中の「広報ID番号」を、秋田市ホームページ上の検索画面(右)に入力すると当該ページへ移行します

サイト内検索 よくある質問検索 広報ID検索

「広報ID番号」をここに入力!





令和2年4月1日現在〈平成27年国勢調査の結果を反映した数値〉()内は前月比

【人口】304,026人(-917)…男▶143,296人(-522)／女▶160,730人(-395) *1年前の人口▶305,944人
3月分…出生▶141人／死亡▶324人／転入▶2,304人／転出▶3,038人 【世帯】136,401世帯(+63)

秋田市への移住者数

令和元(平成31)年度に秋田市へ移住した世帯数・人数(令和2年3月末現在)

【移住世帯】116世帯(前年同月比+22)

【移住人数】274人(前年同月比+58)

…移住希望登録し、移住したかた



秋田市への移住者数が過去最高になりました!

(県に移住希望登録をして、移住したかた)

人口減少・移住定住対策課 ☎(888)5487
秋田市への移住に役立つ情報コーナー

ちよーどいいから住みやすい

秋田市の移住支援をサポート!

東京圏からの移住支援▶東京圏から秋田市へ移住するかたの生活必需品などの購入に要する費用を補助します。

補助内容

単身世帯は一律60万円

2人以上の世帯は一律100万円

*東京圏=東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県のうち、条件不利地域を除いた区域。

子育て世帯の移住支援▶県外から秋田市へ移住する子育て世帯の住宅の新築・購入、賃借、転居費用を補助します。

補助内容

①住宅(中古も)の新築・購入費用として100万円

②住宅の賃貸借契約費用(敷金・礼金などの初期費用)として20万円

③転居費用として20万円

*子ども1人につき、10万円が加算されます。

若者の移住支援▶県外から秋田市へ移住する若者の生活必需品などの購入に補助します。

補助内容

次の購入費用に、補助対象者1人につき20万円

①住宅の新築・購入、賃借にかかる費用と転居費用

②運転免許取得や自動車・バイクなどの購入費用

③家具、生活家電などの生活必需品購入費用

●上記いずれの補助制度を利用する場合も、県ホームページ「秋田暮らしはじめの一步」から移住定住登録が必須です(<https://www.a-iju.jp>)

●各補助制度には、対象要件があり、各種書類の提出は、転入日の2週間前をめぐりに行うようお願いします
(広報ID番号 1003646)

「農家のパーティ」ネットワークのホームページを公開!



秋田市・男鹿市・潟上市・JA秋田なまはげが連携し、活動している秋田中央地域地場産品活用促進協議会(「農家のパーティ」ネットワーク)のホームページを公開しました。

同協議会会員の商品や主催イベントの情報などを随時更新しています。ぜひご覧ください!

<https://farmers-party-network.jp>



飲食店を応援しよう おうちで秋田メン!



新型コロナウイルスの影響を受けている飲食店などを応援するプロジェクトとして、テイクアウトやデリバリーが可能な店舗情報を、「農家のパーティ」ネットワークのホームページに順次掲載します。ぜひ、ご利用ください。

また、すでにテイクアウトやデリバリーを行っている、これから行う予定のみなさんは、ぜひ情報をお寄せください。掲載申込は、同ホームページから情報記入シートをダウンロードしてお申し込みください。

問い合わせ▶同協議会事務局
(産業企画課内) ☎(888)5724

★「農家のパーティ」ネットワークでは
会員を募集しています!

より効果的な農産品などのプロモーション活動が期待できます! 事業者のみならず、この活動に賛同していただける個人・団体のみならずからの入会もお待ちしています。詳しくはホームページをご覧ください。